

平成 29 年度

全国学力・学習状況調査の 結果について



平成 29 年 12 月
海老名市立上星小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料

学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は
こちらから



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら話し合う。

話す・聞く力

- 目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む。

読む力

《努力を要する所》

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読み書きする。
- 古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読む。

言語についての知識・理解・技能

- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。

書く力

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的や意図に応じ、適切な言葉づかいで話す。
- 話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモの良さを捉える。

話す・聞く能力

《努力を要する所》

- 目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える。
- 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。
- 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる。

読む・書く力

資料の中の事実や自分の考えを取捨選択し、整理して書き表すことを苦手としている。教科書内での学習とともに普段の作文指導でも内容や構成を意識して書けるように指導していく必要がある。

これまでの取組から

- 朝の会などでのスピーチ、学級活動などでの話し合いなどにより、話すことに慣れている児童が多いです。
- 朝読書を取り入れることで、読書に親しむ児童が多いです。

今後の具体的な取組について

- 書く活動の中で、資料の取捨選択、自分の考えの整理、構成の仕方を繰り返し指導していきます。また、自分の考えをノートにまとめ整理する活動を多く取り入れていきます。
- 読書週間などを利用し、より多くの漢字に触れる機会を増やすとともに、日常の書く活動で習得した漢字を活用するよう指導していきます。



算数に関する調査結果

算 数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。
- 数量の関係を数直線に表すことができる。
- 小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えることができる。



数量や図形についての知識・理解

- 整数の乗法の計算ができる。
- 小数と整数の加法の計算ができる。



数量や図形についての技能

《努力を要する所》

- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算ができる。
- 商を分数に表す計算ができる。



数量や図形についての知識・理解

整数を用いた問題については全体的に正答率が高い。小数や分数の計算問題については、困難を感じている児童が多く、基礎計算問題を中心に復習していく必要がある。

算 数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 平均を求める式を判断することができる。



数量や図形についての知識・理解

- 示された条件を基に、適切な式を立てることができる。



数学的な考え方

《努力を要する所》

- 問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述することができる。
- 式の中の数値の意味を解釈し、記述することができる。
- 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断することができる。



数学的な考え方

図や表、グラフから数値を読み取り、式に表したり、式から資料を判断したりする力が不十分な様子が見られる。また、計算のきまりや説明問題が苦手なので、算数用語の活用や解き方を友だちに説明するなどして、理解を深めていく必要がある。

これまでの取組から

- 既習事項をもとに自力で解決する時間を設けていることにより、自分のやり方でこつこつと取り組む児童が多いです。
- 基礎的な計算問題については、繰り返し練習を積み重ねているので、計算技能を身につけている児童が多いです。



今後の具体的な取組について

- 朝自習の算数チャレンジで小数や分数の計算問題を多く行っていきます。また、新しい単元で小数や分数を用いた計算が必要な場面では、ふりかえりを行いスムーズに計算できるように支援します。
- 算数用語を説明したり、問題の解き方を、図や式などを使ってノートに書いたり、友達に説明したりする機会を増やし、理解を深めていきます。

児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

○先生から示される課題や学級やグループの中で自分たちで立てた課題に対して自ら考え、進んで取り組んでいると答えた児童が全体的に多く、前向きに授業に取り組む姿勢が感じられます。

○家で学校の宿題を忘れずにしていると回答した児童が95%近くおり、県平均と比較しても8ポイント近く高く、多くの児童に宿題への日常的な習慣が身についていることが分かりました。

《課題と思われる所》

○学校の授業で、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと答えている児童が多かったです。
話の組み立てを工夫したり発表したりすることが苦手だと感じていることが分かりました。

○テレビのニュース番組やインターネット等のニュースは見るが、新聞から情報を得ている児童の割合は少なかったです。

生活について

《よかった所》

○朝食を毎日食べていますか。という質問に対し91.5%の児童がしていると答え、県・全国87%に比べると高い値を示しています。

○学校や友だちとの約束を守っているという質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば」を合わせると93%以上の児童が当てはまると答えており高学年としての意識を持って行動しようとしていることが分かりました。

《課題と思われる所》

○携帯電話やスマートフォンの使い方・テレビゲームをする時間などの約束を家の人と決めてはいるが、約半数の児童が守れずにいることが分かりました。

○地域の行事等に参加したことがあると回答した児童は約半数で、地域社会への関わりが課題です。



これまでの取組から

○友だちと考えを交流することを好み授業に前向きに取り組む児童が多い反面、筋道を立てて考えたり、説明したりすることが難しいと感じている児童が多いです。新しい単元に入る前の手立てとして関連する以前の学習の振り返りや既習事項を提示し学習に活用できるようにしています。

○日々の学校生活や行事等を通して高学年としての意識を高めるよう指導しています。

今後の具体的な取組について

○児童自らが問題から課題につなげていけるような主体的な学習を通して自分の考えを友だちに説明したり文章に表現したりすることができるよう指導していきます。

○携帯電話、テレビゲームの使い方などについて懇談会などの機会を通して保護者に伝えていくようにします。

○地域社会への所属意識を高め、地域社会への参加を積極的に促していきます。

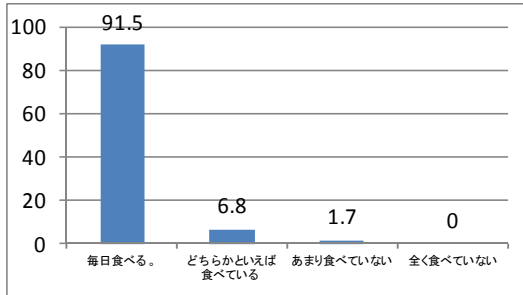
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい5つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

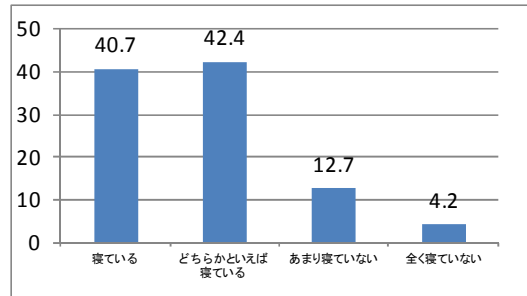
1 規則正しい生活習慣を大切にしましょう。

「早寝・早起き・朝ごはん」を続けて実践し、基本的な生活習慣を身につけて学習に活かしていきましょう。
(朝食を食べている児童 … 本校91.5%・県87.0%・全国87.0%)

朝食を毎日食べていますか。



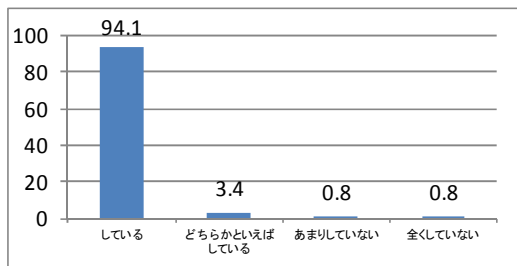
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



2 家庭学習の習慣を身につけていきましょう。

「10分×学年」が家庭学習の目安です。学習状況を見守り、ほめて励ましてください。

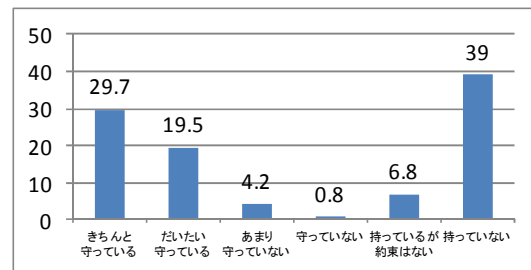
家で、学校の宿題をしていますか。



3 家庭で決めたルールを守りましょう。

テレビ・ゲーム・携帯電話・スマートフォンに費やす時間について、ルールを設定し確認しましょう。

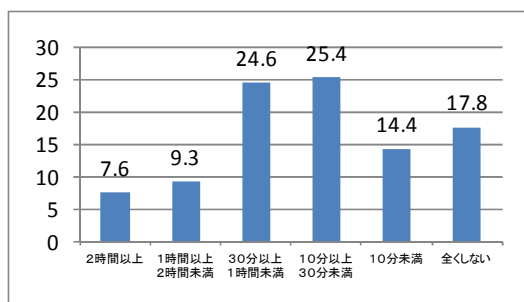
携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



4 読書の習慣を身につけましょう。

読書を通して、より多くの言葉や漢字に触れる機会を増やしましょう。

普段(月曜日～金曜日)、一日あたりどれくらいの時間読書を読みますか。



5 今、住んでいる地域に愛着をもちましょう。

地域の行事に参加することで知り合いができ、安全・安心な生活を送ることができます。

今、住んでいる地域の行事に参加していますか。

